

オモロい言葉 シェア活



peopleperson

まえがき

昔から妄想癖があり、自作の仮定のストーリー内で人と会話をする（独り言を言いながら）のが常でした。

最近、人はどんなことに心動かされ、面白さを感じるのか？どんな方向に考えを巡らせているのか？そのアイデアを、どんなふうに表現するのか？に興味を持ち、現在仕事の傍らイベントをいろいろ開催しています。その中の一つの“オモロい言葉探しシェア活”は、皆でシェアして楽しむのも良しですが、そのじわじわ来る面白さは、一人遊びにも最適です。イベント内での口頭でのシェアとの違いはありますが、書いたものを読むのもなかなかの面白さがあります。

以前、“この、リンス泥棒！変な寝言が忘れられない”という本に出逢って衝撃を受けたことを思い出し、こういう形にして世に出したい！と思い、思い切って行動に移してみました。

この人の脳みその中で、こんな動きがあるんだな～、とニヤリとしていただけますと幸いです。

☆オモロい言葉探しルール☆

とにかく自分が面白い！！と思う言葉を集めます。造語でも良い。英語でも良いが、日本人になじみのある単語の方がベター。単語だけでなく、ことわざや表現、フレーズなどもOK。人が不快に思うような言葉でなければ何でも良い。（この本の言葉コレクションは、2017年7月現在の話題です）

人にとって面白いかどうかは関係なく、自分が面白いと感じていることが基準。どんなふうに感じるとか、その言葉の背景が面白いとか、シェアする感想は何でもOK。単純な笑いだけでなく、知的な内容など、いろんな方向からの面白さを対象とします。

・しまっちゃんおじさん

→漫画、[ぼのぼの](#)の中に出てくるキャラクター。主人公のぼのぼのの想像上のキャラクターで、悪いことをする子供をひたすらしまうおじさんのこと。何でもしまってしまうおじさんというキャラクターアイデアが面白いし、響きも面白い。

・満タン

→なぜタンがカタカナなのか、実は満端なんでは、とちょっと不思議に思って辞書で引いたら満タンクの略だった。

・松竹梅

→お寿司屋さんなどでの表記。上中下と表さないところが日本らしく、奥ゆかしくて面白い。

・ショットガンマリッジ（できちゃった結婚）

→英語だとこんなふうに表示するんだ！と面白い。また、外国人との雑談中に、ショットガンマリッジと言うつもりが、誤ってマシンガンマリッジと言ってしまい、マシンガンでは立て続けに打ってしまうことになり、その妊娠と考えると自分で吹出した、という思い出からの面白さ。さらに、日本には銃文化がないのに弾丸ツアーという言葉もあり、威力とかスピードを表すのに銃を使うんだ、という面白さ。

・天然だね

→ボケ的な行動を、計算せずに行う人物を表す言葉。例えば魚の養殖などを考えると、人が、より美味しく手軽にと手を掛けるけれど、生まれつきで人から影響を受けない天然の面白さというあたり、その貴重さを考えると天然（ボケ）だねと言われることは、実はスゴイと思う。欽ちゃんが、ジミーちゃんを発掘して世に出そうとしたものの使いこなせず、思わず言ったのが語源らしい。明石家さんまがオレたちひょうきん族で話した後、時間が経ってからこの言葉が広まったことに驚いていたという話で、そのタイムラグもまた面白い。

・3.4時間戦えますか？

→エネルギードリンク、[リゲイン](#)のキャッチコピー。バブル期は、“24時間戦えますか？”がキャッチコピーだったのに、そこからの落差が今の時代を反映していて切ないが、同時に面白すぎる。

・ちょうどいいブス

→お笑いの、相席スタートの山崎ケイちゃんから生まれた呼び名。“ブスの中の一部なんだけどモテる人”という、ブスというカテゴリから実質外れること自体がスゴイし、また、ブスという言葉がポジティブに使われることに衝撃。とにかくブスに脚光が当たる日が来るとは…。

・ほうほう族

→学生時代、アルバイト先のとんかつ店で同僚が、お客さんに呼ばれる度に、「あ、お水の方」、「あ、メニューの方」、と何でもかんでも語尾に“方”を付けるのが気になって仕方なかった。未だに、説明の“方”させていただきます、とか言われると気になって仕方ない。辞書によると、こういう人達のことを“ほうほう族”と呼ぶとのこと。

・VicksVapoRub

→小さい頃、しょっちゅうテレビCMが流れていたのを忘れられない名前となっている。正確な商品名がさっぱり入ってこなかった。とにかく音をそのまま拾って覚えていた印象。商品名もはっきり分からない、買ったことも使ったこともないのに、強烈に印象が残っている。わざわざこんなに長くて分かりにくい名前を日本で使わなくても、、と思うので、覚えてもらいたい部分をわざとぼかして、好奇心をそそるといったビジネス手法の走りなんではとすら思う。いい部屋ネットのCMのリバーソングとかも、何て言ってるんだろうと気になってしまう。同年代の人達に聞いても、この商品名につき感想は同じだったので、その影響力に驚いた。

・ネコと和解せよ

→よく田舎の柱や壁に貼られているキリスト教の貼紙。文言の、“神と和解せよ”の“神”の字の右側のつくり部分が中途半端に剥がれて、カタカナ2文字でネコと読める状態になり、結果“ネコと和解せよ”というミラクルな状態になった、人類は、おネコ様を怒らせてしまったのか！？と解釈できてしまい面白い、というネットの写真記事から。